

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年10月20日（月）

2 確認箇所

- ・伐採木一時保管エリアM（図1）
- ・JAEA第2棟建設工事（図1）

3 確認項目

- （1）伐採木一時保管エリアMの保管状況
- （2）JAEA第2棟建設工事の状況

4 確認結果の概要

（1）伐採木一時保管エリアMの保管状況

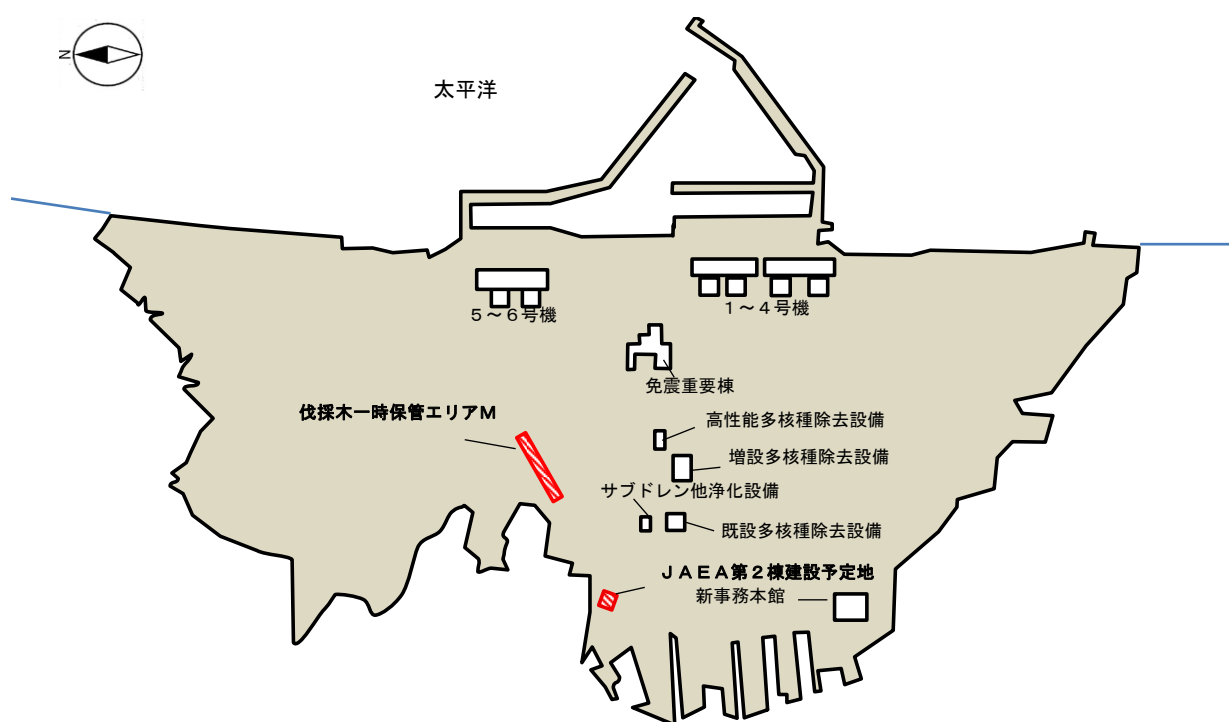
福島第一原子力発電所事故後に構内の敷地造成等により発生した伐採木は、構内の伐採木一時保管エリアM（以下「エリアM」という。）で保管されている。これらは、増設雑固体廃棄物焼却設備の設置以降、焼却処理のため、チップ化処理が進められている。しかし、増設雑固体廃棄物焼却施設の停止により、当初想定より保管期間が長期化することが見込まれることから継続的な保管状況の確認を行っている。本日は、当該エリアMの状況について確認を行った。（前回確認：[令和7年8月25日](#)）

- ・確認時、エリアHから搬入された中サイズ木材についてチップ化処理用の重機等を用いて切断・破碎作業を実施していた。（写真1）
- ・その他の伐採木は、水分を取り除き、乾燥した状態で木幹・枝等が2～3mサイズに切断され保管されていた。エリアMの南西側の一部は瓦礫類減容処理のための区画となっていた。（写真2）
- ・火災対策のため道路側へ火災防止用保護シートの敷設及び消火用タンク等の配備がなされていた。（写真3）
- ・確認した範囲内では、伐採木のエリア外への飛散・流出はなかった。

（2）JAEA第2棟建設工事の状況

日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）は、事故で発生した燃料デブリ等の安全な取り出し等の作業推進に資するための燃料デブリの性状の把握を目的に、福島第一原子力発電所の敷地内に、放射性物質分析・研究施設第2棟（以下「JAEA第2棟」という。）の設置を計画している。JAEA第2棟の建設工事は令和7年3月31日に着工しており、県では設置工事の状況を継続的に確認している。本日は、その確認を行った。（前回確認：[令和7年9月16日](#)）

- ・ J A E A 第 2 棟の建設は、基礎工事で使用する柱材の設置がほぼ完了していた。また、各室の設計条件に応じた柱材の接合及びそれら各柱材の間を設計厚さに合わせてコンクリートで塞ぐ壁面部分の構築作業が進められていた。
- ・ 建屋内の換気を外気に導く排気筒の第 1 段目が地下階の部分に設置され、これを固定する壁面の構築作業が進行していた。
- ・ サマータイムにより変更されていた作業時間帯は平常に戻っており、現場事務所の出入口に設置されていた熱中症対策のミスト扇風機は、撤去されていた。（写真 4）



（図 1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真 1－1）エリアMの状況①



（写真 1－2）エリアMの状況②



(写真 1－3) 重機による木材の
切断・破砕状況①



(写真 1－4) 重機による木材の
切断・破砕状況②



(写真 2－1) エリアM内の木材
保管状況



(写真 2－2) エリアM内の瓦礫類
減容処理用区画



(写真 3－1) 道路側へ火災防止用
保護シート敷設状況



(写真 3－2) エリアM内の消火用
タンク等の配備状況



(写真 4－1) JAEA 第2棟建設
作業現場の安全掲示板



(写真 4－2) 作業現場における
危険喚起シート類

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。